



Silk Central 19.5

リリースノート

Micro Focus
The Lawn
22-30 Old Bath Road
Newbury, Berkshire RG14 1QN
UK
<http://www.microfocus.com>

© Copyright 2004-2019 Micro Focus またはその関連会社。

MICRO FOCUS、Micro Focus のロゴおよび Silk Central は、Micro Focus またはその関連会社の商標または登録商標です。

その他、記載の各名称は、各所有社の知的所有財産です。

2019-01-29

目次

Silk Central 19.5 リリース ノート	4
Silk Central 19.5 の新機能	5
管理	5
要件	5
テスト	5
実行計画	6
アクティビティ	6
Issue Manager	7
API の改善	7
統合	7
AdoptOpenJDK	7
ヘルプ	8
システム要件および前提条件	9
解決済みの問題（機能拡張要求を含む）	11
Micro Focus へのお問い合わせ	13
Micro Focus SupportLine が必要とする情報	13
テスト済みおよびサポートされているソフトウェア	14
予定されているサポートの終了	16

Silk Central 19.5 リリースノート

バージョン 19.5

2019年2月

以下の注記には、ヘルプには記載されていない重要な情報が含まれている場合があります。注記にはすべて目を通してください。

インストール、デプロイメント、およびライセンス管理に関する情報については、『[Silk Central インストールヘルプ](#)』を参照してください。

さらに支援が必要な場合は、[カスタマーケア](#) にアクセスしてください。

Silk Central 19.5 の新機能

Silk Central 19.5 では、大幅な機能拡張と変更が導入されました。

管理

自己登録型実行サーバー

Silk Central では、新しい「実行サーバ起動プログラム」を使って、コマンドラインから新しい実行サーバーを登録できるようになりました。指定したロケーションに実行サーバーのエントリが作成されます。つまり、その実行サーバーは、そのロケーションを選択しているプロジェクトで利用可能になります。この新しい機能によって、実行リソースを必要に応じて柔軟に増減できるようになります。手動で登録/解除する手間がかかりません。さらに、実行サーバー起動プログラムは、実行サーバーの最新のバージョンへのアップグレードを自動的に実行し、異常終了した場合の再起動も自動的に実行します。

ユーザー管理：ユーザーとグループ間のリンク

ユーザー ページとグループ ページ間の移動が簡単にできるようになりました。ユーザー ページ上のグループ名が対応するグループへのリンクになり、グループ ページ上のユーザー名が対応するユーザーへのリンクになったため、容易にページを切り替えることができます。

新しいアクセス許可

Silk Central 19.5 では、次の新しいアクセス許可が導入されました。

テスト実行のステータスの変更 ユーザーがテスト ステータスを変更できるかどうかを指定します。

Excel からのテストのインポートと更新 ユーザーが Excel ファイルからテストをインポートできるかどうか、およびインポートしたテストを Excel ファイルから更新できるかどうかを指定します。

要件

割り当て済みテスト：パス情報

要件の **割り当て済みテスト** タブにテストの完全パスを表示できるようになりました。

テスト

ビジネスプロセス テスト

Silk Central では、ビジネス プロセス テスト (BPT) を利用できるようになりました。この機能は、E2E ビジネス トランザクションの検証における課題の解決を目的としています。BPT は、Silk Central の既存の手動テスト機能を拡張するもので、BPT 専用の 3 種類の資産タイプ (ビジネス コンポーネント、フロー、ビジネス プロセス テスト) を新たに導入することによって、BPT 固有の機能の複雑さを低減し、扱いやすくしています。

共有テスト資産に対する要件割り当ての改善

プロジェクト間でテストを共有する際に、Excel からインポートされた要件に対するテスト割り当ても自動的に再作成されるようになりました。

実行計画

手動実行計画：複数のコンテナ/フォルダを指定したテスト フィルタ設定

割り当てるテストを見つけやすくするため、複数のテスト コンテナおよびテスト フォルダを選択して、テストをフィルタすることができるようになりました。

手動実行計画：テストの割り当てグリッドにおけるテスト ID の表示

手動実行計画 ウィンドウの **テストの割り当て** グリッドで、テストを確実に識別できるようにするため、テスト ID を表示できるようになりました。

手動実行計画：再割り当て時の電子メール通知

実行中のテスト サイクルに新しいテストが割り当てられたときに、テスト担当者に電子メール通知が送信されるようになりました。

手動テスト結果：完了/解決した問題の非表示

手動テスト結果 ビューで完了/解決した問題を非表示にできるようになりました。不要な情報が表示されないため、重要な情報がより見つけやすくなります。

結果クリーンアップ ルール：手動による実行

実行または結果ファイルの削除... コンテキスト メニューを使って、結果クリーンアップ ルールを手動で実行できるようになりました。これまでのバージョンの Silk Central では、新しい結果が作成されたときにのみ、結果クリーンアップ ルールは実行されていました。

結果クリーンアップ ルール：次の経過後に削除

18 または 24 か月後に結果を削除する設定ができるように拡張されました。

自動テストの結果ファイル サイズの制限

自動テストの実行時に、非常に大きい結果ファイルが Silk Central にアップロードされることを防ぐことができるようになりました。

アクティビティ

全プロジェクト アクティビティでのプロジェクト名の表示

全プロジェクト アクティビティ ページのグリッドに、プロジェクト ID に加えてプロジェクトの名前を表示できるようになりました。

Issue Manager

変更履歴情報の詳細化

Issue Manager における問題の変更履歴に、問題追跡ワークフローで定義されたすべてのフィールドに対する変更が記録されるようになりました。

問題の新規作成時における添付ファイルと通知の追加

新しい問題を作成している時に、添付ファイルと通知を追加できるようになりました。

API の改善

失敗/未実行ステータスをもつ実行計画の実行

実行計画を再実行する際の UI オプション [失敗したステータスをもつ] および [未実行ステータスをもつ] と同等の機能を、SOAP および REST API を使って実行できるようになりました。

統合

DOORS : 同期する要件のフィルタリング

Silk Central では、DOORS のすべての要件を同期するのではなく、DOORS のビューに設定されたフィルタによって返された要件だけを同期できるようになりました。

JIRA : カスタム フィールド エピック ステータスのサポート

Silk Central の JIRA との統合では、**エピック ステータス** カスタム フィールドをサポートするようになりました。

StarTeam : 変更要求以外のタイプに対する問題の作成

StarTeam の 変更要求 以外のタイプに対して問題を作成できるようになりました。指定するタイプには、ワークフローが設定されている必要があります。

Silk Test : 新しい HTML 結果レポート

Silk Test テスト実行の結果として、Silk Test が生成する新しい HTML 結果形式のレポートを表示できるようになりました。

Quality Center からの移行

Silk Central では、Quality Center から Silk Central へ要件、テスト、テストセット、問題を移行できるようになりました。特定の資産では、他の資産への割り当て、カスタムプロパティ、履歴、添付ファイルも同様に移行されます。詳細については、カスタマ サポートにお問い合わせください。

AdoptOpenJDK

Silk Central 19.5 では、Oracle JRE ではなく AdoptOpenJDK のライブラリを内部的に使用するようになりました。この変更は、すべてのサーバー、つまり、アプリケーション サーバー、フロントエンド サーバー、チャート サーバー、実行サーバー、および、すべてのサーバー間の通信に対しても適用されます。

つまり、インストールされている JRE と内部で使用する JRE ライブラリ間に依存関係はありません。ただし、32 ビット モードで実行サーバーを実行する必要がある場合を除きます。この場合は、**実行サーバー起動プログラム** または **実行サーバー パッケージ** を使って、ユーザーがインストールした 32 ビット JRE 上で、実行サーバーを実行する必要があります。デフォルトでは、実行サーバーは 64 ビット モードで実行します。


Silk Central 19.5 以降では、フロントエンド サーバー、チャートサーバー、アプリケーションサーバーに対して、次のルールが適用されます。

- サーバーの新しいインスタンスは常に 64 ビットになります。
- Silk Central のインストール時に作成されるデフォルト インスタンス (silk) は常に 64 ビットになります。
- 既存の 32 ビット インスタンスは、アップグレードしない限り 32 ビット インスタンスのまま保持されます。
- 既存の 32 ビット インスタンスにホットフィックスを適用しても 64 ビットに変わることはありません。インスタンスは 32 ビット インスタンスのまま保持されます。
- 既存の 32 ビット インスタンスを Silk Central 19.5 以降にアップグレードすると、自動的に 64 ビット インスタンスに変換されます。

Silk Performer 19.5 以降を Silk Central 19.5 以降で実行した場合には、次のルールが適用されます。

- Silk Performer 19.5 以降には、Silk Performer 実行用の JRE が含まれています。
- Silk Performer に同梱された JRE 以外の JRE を使って Silk Performer を実行する場合は、ScclTcVersionsConf.xml ファイルに *JREPath* タグを追加して JRE へのパスを指定します。例：

```
<JREPath>C:¥Program Files (x86)¥Java¥MyJre8.0</JREPath>
```

 **注:** *JREPath* タグを使って指定する JRE は、32 ビット JRE でなければなりません。

- *JREPath* タグの ScclTcVersionsConf.xml ファイル内の階層は、CoreVersions > Entry > JREPath です。

ヘルプ

新しいヘルプ形式

Silk Central のローカル ヘルプ、オンライン ヘルプ共に、ドキュメントの形式が新しくなりました。新しい形式では、検索もより高速になり、ユーザビリティも向上しています。

ツール ページの改善

Silk Central の **ヘルプ** > **ツール** ページが構造化され、ダウンロード可能な項目について説明が表示されるようになりました。

システム要件および前提条件

Silk Central の最適なパフォーマンスのために、このセクションで概要を説明する構成をお勧めします。自作機（ベアボーンキット、ショップブランド機を含む）は動作保証外です。

サーバー システムの要件

システム領域	要件
CPU	Intel Core i5、またはより高性能な CPU
メモリ	最低 8 GB
空きディスク容量	最低 30 GB、データベース サーバーを除く
ネットワーク	100 Mbit
オペレーティング システム、データベース管理システム、Web サーバー	「 テスト済みおよびサポートされているソフトウェア 」を参照してください。
電源供給	停電時のリスクを減少するため、すべての環境に対する無停電電源装置 (UPS)

追加するインスタンスごとに、最低 10 GB の追加のディスク容量と、次の最低メモリが必要になります。

- フロントエンド サーバー：500 MB
- アプリケーション サーバー：300 MB
- チャート サーバー：200 MB

作業内容に応じて、これらの値はより高くなる可能性があります。

Silk Central の最適な構成の詳細については、テクニカル サポートまたはテクニカル アカウント チームにお問い合わせください。

実行サーバーの要件

実行サーバーに対する実際の要件と前提条件は、テスト対象アプリケーション (AUT) やテストのタイプに依存します。

負荷テストについては、Silk Performer の環境要件を参照してください。最小限の構成での負荷テストは、不正確な結果につながります。

機能テストについては、Silk Test の環境要件を参照してください。Web ブラウザのリプレイなど、集中的なテストについては、最小 2048 MB のメイン メモリが推奨されます。

Linux 実行サーバーは、Java Runtime Environment (JRE) 8 が必要です。

プロキシ サーバーの要件

Silk Central で Microsoft IIS を使用する場合は、Silk Central をインストールする前に、次の IIS 拡張機能をインストールする必要があります。

- Application Request Routing (ARR)
- URL Rewrite

[IIS Downloads](#) ページから、これらの拡張機能の最新版をダウンロードできます。

仮想化

Silk Central は仮想インフラストラクチャ環境 (VMware vSphere サーバー) での実行がテストされています。

クライアント側のシステム要件

システム領域	要件
プロセッサ	Intel Core i3、またはより高性能な CPU
メモリ	2 GB
Web ブラウザ	<ul style="list-style-type: none">• Google Chrome• Internet Explorer 11 以降 (互換モード以外)• Mozilla Firefox• Microsoft Edge

手動テスト UI は、Java Runtime Environment (JRE) 7 Update 79 以降が必要です。Internet Explorer 11 を使った手動テストでは、32 ビット版の Java をクライアント上にインストールする必要があります。

解決済みの問題（機能拡張要求を含む）

以下の問題が Silk Central 19.5 で解決されました。

SI #	RPI #	説明
2840944	1102051	自動テスト実行で結果ファイル サイズを制限したい
2858798	1104500	JIRA エピック ステータス フィールド タイプをサポートして欲しい
2875588	1106691	Silk Central Web ページ上に現在のプロジェクト名全体が表示されない
3101734	1109074	Excel からテスト ケースをインポートするためのユーザー権限を追加して欲しい
3105361	1109353	テストの割り当て グリッドにテスト ID 列を表示して欲しい
3114445	629485	ユーザー管理: グループ ページに表示されるユーザーをクリックしてユーザーを表示したい
3116506	1110428	手動実行計画 の フォルダ ツリーで複数選択とキーボード操作をサポートして欲しい
3118832	630129	追跡ページにプロジェクト ID だけでなくプロジェクト名を追加して欲しい
3125418	1111275	結果クリーンアップで指定できる時間間隔を拡張して欲しい
3135657	1112401	Web サービス API を使用して未実行のテストを実行できない
3142835	1112926	完了した実行のステータスを手動で変更できないようにするユーザー権限を追加して欲しい
3151195	1113671	結果クリーンアップ ルールでエラーが発生する
3153885	1113912	手動テスト結果 レポートで完了または解決した問題の表示を設定したい
3155482	1114030	Issue Manager に表示される履歴情報が十分でない
3157349	1114187	要件の 割り当て済みテスト タブに要件パス情報を表示して欲しい
3157382	1114172	新しい問題の作成時に保存前に添付ファイルを追加したい
3160229	1114462	ビルド番号を指定せずに未実行および失敗したテストを開始したい
3161253	1114554	要件プロパティでのエラー: 「ORA-22835: CLOB から CHAR、または BLOB から RAW への変換には、バッファが小さすぎます」
3161271	1114977	アクティビティ ビューに実行が重複して表示される
3161362	1114568	プロジェクトの所有者がユーザー名でなくログイン名でソートされる
3162234	1114608	Silk Central の統合が ClearQuest 8.0.17 に対して動作しない
3162827	1114632	BIRT レポート ファイルが破損して開けない
3165649	1114900	問題の表示/作成時に ThreadConnectionLimitException が発生する
3168584	1115079	Silk Central - JIRA 統合を使ってバグを作成するときにエラーが発生する
3168869	1115136	Issue Manager の説明への変更がファイルを添付すると失われる
3171244	1115490	ProcessExecutor から TestNG テストを実行すると JUnit 結果ファイルの解析に失敗する
3171513	1115415	Silk Central カスタム ロールが Issue Manager で期待通り扱われない
3171594	1115400	キーワード駆動テスト: モバイル デバイスのスクリーンキャストが Google Chrome、Microsoft Edge、Mozilla Firefox で機能しない

SI #	RPI #	説明
3171608	1115427	テスト コンテナ プロパティ ビュー： カスタム データ ディレクトリとカスタム インクルード ディレクトリの内容が入れ替わっている
3171837	1115584	テスト属性の編集におけるパフォーマンスの問題
3175563	1115844	実行ステータスの概要 レポートが 1000 を超える ID のプロジェクトに対して失敗する
3175867	1115923	LDAP 設定が機能しない
3177504	1115924	プロジェクト インポート： 同じ名前と型のテスト パラメータが既に存在するとパラメータが重複して作成される
3178581	1115963	完了したテスト サイクルのテスト結果： 手動テスト結果 ビューに削除したテストのテスト結果が表示される
3178582	1115960	非アクティブのテスト属性をグリッド ビューに割り当てることができる
3180351	1116106	テスト属性を使ったフィルタを定義できない
3180530	1116191	Silk Central の VFS ナビゲーション時に並べ替えを有効にして欲しい
-	-	DB の検査： データ ソース属性の検査時に例外が発生する
-	-	認証されたセッション Cookie を特定のパスと httpOnly に限定する
-	-	システム診断での測定値のダウンロードにおける問題
-	-	jQuery 3.3.1 と jQuery UI 1.12.1 への更新
-	-	外部リンクへの rel="noopener noreferrer" の追加。 セキュアな設定の例を含むように nginx.conf.template を変更
-	-	プロジェクト ベースラインの作成： データ駆動型テーブル インポート時のエラー ログ出力の改善
-	-	MSTest プラグインでの順序指定テストのサポート： 複数のテストを orderedtest ファイルに指定して実行することができない

Micro Focus へのお問い合わせ

Micro Focus は、世界的規模のテクニカル サポートおよびコンサルティング サービスを提供します。すべての顧客のビジネスを成功に導くために、信頼できるサービスをタイムリーに提供するように、Micro Focus はワールドワイドのサポート体制を整えています。

保守およびサポート契約を結んだすべてのお客様、および製品を評価中のお客様は、カスタマー サポートを受けることができます。高度なトレーニングを積んだスタッフが、お客様の質問にできる限り迅速かつ専門的にお答えします。

<http://supportline.microfocus.com/assistedservices.asp> にアクセスするか、またはメールを supportline@microfocus.com に送信して、Micro Focus SupportLine と直接連絡できます。

また、<http://supportline.microfocus.com> の Micro Focus SupportLine では、最新のサポートに関するニュースや、さまざまなサポート情報を得ることができます。このサイトに初めてアクセスした場合は、ユーザー登録が必要な場合があります。

Micro Focus SupportLine が必要とする情報

Micro Focus SupportLine をご利用の場合は、可能な限り次の情報を提供ください。情報が多ければ多いほど、Micro Focus SupportLine はお客様に適切なサービスを提供できます。

- 問題の原因と思われるすべての製品の名前およびバージョン番号
- 使用しているコンピュータの製造元およびモデル
- システム情報 (オペレーティング システムの名前やバージョン、プロセッサやメモリの詳細など)
- 問題の詳細な説明 (問題の再現手順など)
- 発生したエラー メッセージ
- お客様のシリアル番号


これらの番号は、Micro Focus から受け取った Electronic Product Delivery Notice 電子メールの件名および本文に記述されています。

テスト済みおよびサポートされているソフトウェア

このセクションでは、Silk Central 19.5 がテストされたソフトウェア、および Silk Central がサポートするソフトウェアの一覧を示します。

サポートするオペレーティング システム

- Microsoft Windows Server 2012
- Microsoft Windows Server 2012 R2
- Microsoft Windows Server 2016
- Microsoft Windows 7 32 ビット/64 ビット サービス パック 1 (実行サーバー)
- Microsoft Windows 8.1 32 ビット/64 ビット (実行サーバー)
- Microsoft Windows 10 32 ビット/64 ビット (実行サーバー)
- Android 4.4、5.x、6.x、7.x、8.x、9.x (モバイル デバイスのテスト)
- iOS 9.3、10.x、11.x、12.x (モバイル デバイスのテスト)

 **重要:** 「[Windows での汎用の C ランタイムの更新プログラム](#)」は、すべての Microsoft Windows オペレーティング システムで必要です。Microsoft Windows Server 2016 の場合、**Windows Server (デスクトップ エクスペリエンス)** インストール オプションを選択する必要があります。

サポートする Linux オペレーティング システム

Silk Central は、Linux オペレーティング システムを実行サーバーに限りサポートします。

- Debian
- Red Hat Enterprise Linux
- SUSE Linux
- Ubuntu

サポートする Web ブラウザ

- Google Chrome
- Internet Explorer 11 以降 (互換モード以外)
- Mozilla Firefox
- Microsoft Edge

サポートする Web サーバー

- IIS 8 32 ビット/64 ビット
- IIS 10 32 ビット/64 ビット

サポートするデータベース管理システム

- Microsoft SQL Server 2014 サービス パック 2
- Microsoft SQL Server 2016 サービス パック 1
- Microsoft SQL Server 2017
- Oracle 11g (バージョン 11.2.0.4)。Oracle RAC はサポートされません。
- Oracle 12c (バージョン 12.1.0.2)。Oracle RAC はサポートされません。

サポートする統合された Micro Focus ソフトウェア

- AccuRev 6.2
- Caliber 11.4、11.5
- Mobile Center 2.51 以降
- Silk Performer 19.5
- Silk Test 19.5
- StarTeam 15.x、16.x、17.0
- Silk TestPartner 6.3
- Unified Functional Testing (UFT) 14.0

サポートする統合されたサードパーティ ソフトウェア

- Apache Commons Virtual File System (VFS)
- Atlassian JIRA 6、7
- Atlassian JIRA Agile 6、7
- Bugzilla 4.4.13、5.0.4
- CA Agile Central
- Git 2.20.1
- IBM Rational ClearQuest 8.0
- IBM Rational DOORS 9.5、9.6
- IBM Rational DOORS Next Generation 6.0
- JUnit 4.x、5.x
- Java Runtime Environment 1.7 以降
- Microsoft Office Excel (.xlsx) (テストと要件のインポート用)
- Microsoft Office Word (.doc、.docx) (要件のインポート用)
- Microsoft Visual Studio/Visual Studio Test Agent 2015
- NUnit 2.6.4、NUnit Console/Engine 3.8
- SAP Solution Manager 7.2
- Subversion 1.9
- Team Foundation Server 2015、2017
- VersionOne Enterprise Edition
- VMware vCloud Director 5.5

予定されているサポートの終了

このセクションでは、将来のリリースではサポートされなくなる予定の Silk Central の機能を示します。

IBM Rational DOORS

将来のリリースでは、IBM Rational DOORS はサポートされなくなる予定です。その代わりに、Silk Central は IBM Rational DOORS Next Generation をサポートするようになりました。

Microsoft Windows 7 (実行サーバー)

将来のリリースでは、Microsoft Windows 7 はサポートされなくなる予定です。

VMware vCloud

将来のリリースでは、VMware vCloud はサポートされなくなる予定です。

Rally マッシュアップ

将来のリリースでは、Rally マッシュアップはサポートされなくなる予定です。

Atlassian JIRA 6

将来のリリースでは、Atlassian JIRA 6 はサポートされなくなる予定です。

Team Foundation Server 2015

将来のリリースでは、Team Foundation Server 2015 はサポートされなくなる予定です。